



タイムス フラビィ

Vol. 798

沖縄タイムス社 〒900-8678
那覇市久茂地2-2-2
☎(098) 860-3000

子どもも大人も めくるワクワク

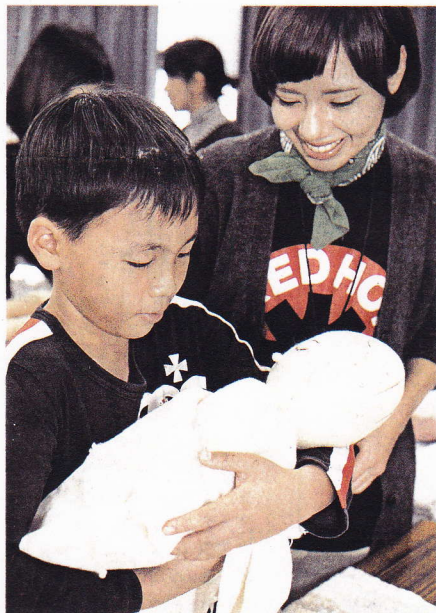


「生まれてこられたあなたは、それだけですごい」。赤ちゃんが誕生するまでを学ぶ「いのちの教室」が11月30日、宜野湾市でありました。お母さんのおなかにいた時や、トンネルをくぐってこの世に生まれた時のまねをして、自分がその時どれだけ頑張ったかを知りました。



暗いトンネルを通過して、お母さんと対面。生まれてきた時のことを思い出してみました。11月30日、宜野湾マリン支援センター

生まれるってすごい!



よしよしよし。赤ちゃんかわいいな

布の「産道」を体験

おなかの中は、こんな感じだったのかな。大人が持つてくれたシーツの中に入ってみたら、ふわふわ揺られていい気持ち。たまに脚をのぼして、おなかをけつてみたりして。

お母さんの体から出る産道って、暗いトンネルも、布でまねして作ってありました。頑張って抜けると、お母さんの笑顔が待っていました。

比嘉梨衣里さん(5)は「怖くはなかったけど、ちょっと汗かいたかった。お母さんに会えてうれしい」。お母さんの綾子さん(38)も「梨衣里に会えてうれし

いよ」と伝えてくれました。大人も、昔はみんな赤ちゃんでした。崎濱充嗣君(9)は不

お産から命の大切さ学ぶ

思議な感じ」と言います。この日はちょうど誕生日で、9年前のことを思い出すプレゼントになりました。

東小華さん(5)は、自分じやなくてお母さんの恵理さん(30)にトンネルをくぐらせてあげて、出口で待ちました。恵理さんのおなかには今、赤ちゃんがいて、あと2カ月くらいで会えます。小華さんは赤ちゃんに「おめでとう」と言っておあげるのを、楽しみに待っています。

ほかにも、いろいろな勉強がありました。赤ちゃんは、男の子の体から出ると女の子の体から出ると、1個しかない(精子)と、1個しかない(卵子)が出会っていきま

精子の多さを知るため、たくさんボールが投げられ、みんな大はしゃぎで集めました



先生役の人が「精子はいくつ出てくると思う?」と聞くと、「100万!」という元気な答えが出ました。でも本当はその100倍、1億個以上あります。その中から1個の精子が当たった、たった1個の精子が赤ちゃんをつくりま

す。会田彩夏さん(6)は「生まれてくるってラッキーなんだ」と、よく分かった様子でした。

教室を開いたのは、「新しいお産を考える会」というグループ。先生役をした菊谷愛子さんはみんなに「生まれてきてくれてありがとう」「生まれてこられたすごい自分を、大切にしたい」というメッセージを届けました。